



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

令和2年度（2020年度）
**北海道原子力防災訓練
実施結果報告書**

令和3年（2021年）3月

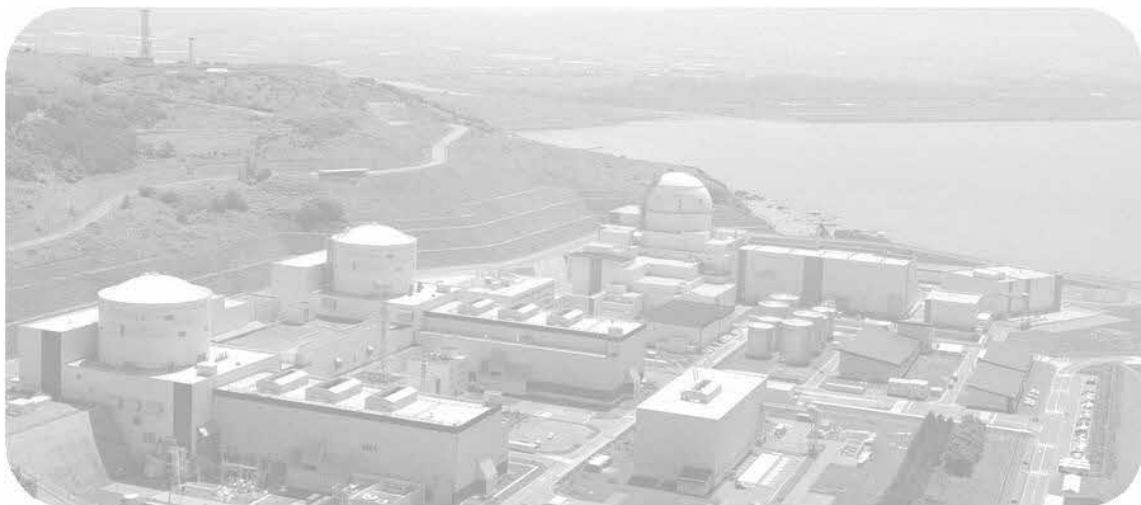
北海道・泊村・共和町・岩内町・神恵内村・
寿都町・蘭越町・二セコ町・倶知安町・
積丹町・古平町・仁木町・余市町・赤井川村

はじめに

北海道の原子力防災訓練は、北海道防災会議が策定した「北海道地域防災計画（原子力防災計画編）」、泊村、共和町、岩内町、神恵内村で組織する泊発電所原子力防災会議協議会が策定した「泊発電所周辺地域原子力防災計画」及び寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村が策定した「地域防災計画（原子力防災計画編）」、「泊地域の緊急時対応（国、道及び関係町村の原子力災害対策を一体的に取りまとめたもの）」に基づき、住民避難訓練や災害対策本部の設置運営訓練などを組み合わせて総合的に実施する訓練（以下、「総合訓練」という。）や、要素ごとに実施する訓練（以下、「要素訓練」という。）により構成され、昭和63年度以降、毎年度実施している。

今年度の総合訓練は、令和2年（2020年）10月に、新型コロナウイルス感染症流行下における地震との複合災害を想定し、感染症対策を講じながら意思決定訓練と実動訓練を連動させて1日間の日程で実施した。意思決定訓練では、国や道などの防災関係機関の要員はオフサイトセンターへ緊急参集を行い、新型コロナウイルス感染症流行下での地震との複合災害時における防護措置の調整・確認を行った。実動訓練では、事態の推移に応じて、PAZとUPZの区分に応じた段階的な住民避難に加え、感染症対策を講じた地震に伴う避難所の開設・運営、孤立地域を想定したヘリコプター、高機動車及び巡視船による住民避難を実施したほか、避難バス運転手等の安全確保のための車両動態管理及び情報伝達、防護対策を行った民間事業者による道路啓開、さらには避難退域時検査などの原子力災害医療活動訓練に取り組んだ。

本報告書は、訓練の記録として取りまとめたほか、訓練終了後に関係機関等に行った事後調査等を基に得られた課題等を整理し、次年度以降の訓練に資するものである。



目 次

第1 総合訓練

1 目 的	1
2 実施日時	1
3 主 催	1
4 場 所	1
5 対象施設	1
6 参加・協力機関	1
7 訓練想定	5
8 訓練内容	7
9 訓練イベント時刻	16
10 住民避難訓練整理表	18
11 訓練実施場所図	19
12 事前準備・結果報告等	20

第2 課題等整理表（関係機関等事後調査結果）	21
------------------------	----

第3 要素訓練

1 通信連絡訓練	29
2 原子力災害対策本部及びオフサイトセンター訓練（図上演習）	29
3 緊急時環境放射線モニタリング訓練	30
4 原子力災害医療研修会	30
5 その他研修	31
6 地域学習会	31

<参 考>

■ 北海道原子力防災訓練の実施状況（平成24年度～令和2年度）	32
■ 訓練参加住民アンケート調査結果	38

第1 総合訓練

1 目的

防災関係機関が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関の連携、防災業務関係者の防災技術の向上を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚や、防災対策に関する理解促進を図る。

2 実施日時

令和2年(2020年)10月31日(土) 8:45~16:00

3 主催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村

4 場所 [実動訓練場所]

泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村、留寿都村、札幌市

5 対象施設

北海道電力株式会社 泊発電所(3号機)

6 参加・協力機関

防災関係機関等 352機関(防災業務関係者 1,551人)

(1) 北海道警察 … <1>

(警察本部、札幌方面岩内警察署、札幌方面余市警察署、札幌方面倶知安警察署、札幌方面北警察署、函館方面本部、函館方面寿都警察署)

(2) 北海道教育委員会 … <1>

(北海道教育庁、後志教育局)

(3) 市町村 … <23>

札幌市、小樽市、島牧村、黒松内町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、千歳市、北広島市、江別市、洞爺湖町、豊浦町、伊達市、室蘭市、苫小牧市、登別市、壮瞥町、白老町、むかわ町、安平町、厚真町、長万部町

(4) 消防機関 … <3>

岩内・寿都地方消防組合(消防本部、岩内消防署、泊支署、共和支署、神恵内支署、寿都支署)

北後志消防組合(消防本部、余市消防署、古平支署、積丹支署、仁木支署、赤井川支署)

羊蹄山ろく消防組合(消防本部、倶知安消防署、蘭越支署、二セコ支署)

(5) 関係省庁 … <8>

原子力規制委員会原子力規制庁、泊原子力規制事務所、内閣府、環境省、厚生労働省、防衛省、消防庁、

経済産業省

(6) 指定地方行政機関 … <11>

北海道総合通信局、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局、気象庁札幌管区气象台、海上保安庁第一管区海上保安本部、小樽海上保安部、環境省北海道地方環境事務所、農林水産省北海道農政事務所、国土地理院北海道地方測量部、北海道防衛局

(7) 自衛隊 … <3>

陸上自衛隊北部方面隊、海上自衛隊大湊地方隊、航空自衛隊北部航空方面隊

(8) 指定公共機関 … <10>

北海道電力ネットワーク(株)、(国研)日本原子力研究開発機構、東日本高速道路(株)北海道支社、東日本電信電話(株)北海道事業部、(株)NTTドコモ北海道支社、KDDI(株)北海道総支社、ソフトバンク(株)、日本通運(株)、日本赤十字社北海道支部、日本放送協会札幌放送局

(9) 指定地方公共機関 … <5>

(一社)北海道薬剤師会、(公社)北海道トラック協会、(一社)北海道バス協会、(一社)北海道建設業協会、(一社)北海道警備業協会

(10) 公共的団体等 … <9>

古宇郡漁業協同組合、岩内郡漁業協同組合、寿都町漁業協同組合、東しゃこたん漁業協同組合、余市郡漁業協同組合、きょうわ農業協同組合、余市町農業協同組合、新おたる農業協同組合、余市水産加工業協同組合

(11) 民間事業者等 … <17>

北海道中央バス(株)、ニセコバス(株)、札幌第一観光バス(株)、札幌観光バス(株)、(株)じょうてつ、道南バス(株)、東芝ITサービス(株)、小樽建設協会、(一社)札幌地区トラック協会、(株)日立製作所ヘルスケア北海道支店、(株)サイエンスアーツ、北海道エネルギー(株)、茅沼建設工業(株)、三陽建設工業(株)、丸清運輸(株)、北陽警備保障(株)、(公社)北海道国際交流・協力総合センター

(12) 原子力事業者 … <1>

北海道電力(株)(本店、泊発電所)

(13) 医療機関 … <7>

札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院、北海道社会事業協会岩内病院、北海道社会事業協会余市病院、小樽市立病院、北見赤十字病院、(一社)北海道放射線技師会

(14) 学校・幼稚園・児童福祉施設 … <85>

【泊村】泊村立泊小学校、泊村立泊中学校、とまり保育所、【共和町】共和町立南幼稚園、共和町立中央保育所、共和町立北幼稚園、共和町立へき地保育所、共和町立東陽小学校、共和町立北辰小学校、共和町立西陵小学校、共和町立共和中学校、【岩内町】高田幼稚園、岩内幼稚園、岩内町立岩内東小学校、岩内町立岩内西小学校、岩内町立岩内第一中学校、岩内町立岩内第二中学校、北海道岩内高等学校、岩内町東山保育所、岩内町中央保育所、岩内町西保育所、岩内厚生園、児童デイサービスチャレンジキッズどんぐり、ファミリーホームろっく、NPO法人はなうた・はみんぐfunいわない、【寿都町】寿都町立寿都小学校、寿都町立潮路小学校、寿都町立寿都中学校、北海道寿都高等学校、寿都保育園、歌棄洗心学園、【蘭越町】蘭越ひばり幼稚園、蘭越町立蘭越小学校、蘭越町立昆布小学校、蘭越町立蘭越中学校、北海道蘭越高等学校、蘭越保育所、北海愛星学園、昆布保育所、【倶知安町】倶知安幼稚園、倶知安藤幼稚園、倶知安めぐみ幼稚園、倶知安町

立倶知安小学校、倶知安町立西小学校、倶知安町立西小学校樺山分校、倶知安町立北陽小学校、倶知安町立東小学校、倶知安町立倶知安中学校、北海道倶知安高等学校、北海道倶知安農業高校、くっちゃん保育所ぬくぬく、リトル・ナーサリー・スクールCLAIR、なかよし子供館、児童チャレンジサポートさやえんどう、羊蹄山ろく発達支援センター、倶知安町立北児童館、倶知安町立南児童館、【積丹町】積丹町立美国小学校、積丹町立日司小学校、積丹町立野塚小学校、積丹町立余別小学校、積丹町立美国中学校、積丹町立びくに保育所、みなと保育所、【古平町】古平町立古平小学校、古平町立古平中学校、認定こども園ふるびら幼児センターみらい、児童デイ多機能型事業所ひまわりくらぶ、【仁木町】仁木町立銀山小学校、仁木町立仁木小学校、仁木町立銀山中学校、仁木町立仁木中学校、北海道芸術高等学校仁木本校、にき保育園、櫻ヶ丘学園、大江へき地保育所、銀山へき地保育所、【余市町】北海道余市紅志高等学校、北星学園余市高等学校、余市町立中央保育所、余市町立大川保育所、(福)徳風会ほうりゅうじ保育園、黒川児童館、沢町児童館、地域小規模児童養護施設さくら

(15) 病院・社会福祉施設 … <95>

【泊村】泊村養護老人ホームむつみ荘、泊村特別養護老人ホームむつみ荘、【共和町】地域活動支援センター前田の家、共和町いきいきセンター、共和町特別養護老人ホームみのりの里共和、デイサービスセンターみのりの里共和、【岩内町】医療法人岩内大浜医院、岩内あけぼの学園、ベーカリーサンライズ、介護老人福祉施設岩内ふれ愛の郷、介護老人保健施設コミュニティホーム岩内、岩内町デイサービスセンター、グループホーム「そよかぜ」岩内、介護付有料老人ホーム七福神恵比寿館、【寿都町】寿都町立寿都診療所、歌棄慈光園、ワークランド歌棄、はまなす寮、寿都しおさい学園、寿都浄恩学園、寿都寿海荘、寿都デイサービスセンター、【蘭越町】医療法人社団静和会昆布温泉病院、蘭越診療所、蘭越町立昆布診療所、特別養護老人ホーム一灯園、高齢者グループホームらんこし、蘭越町通所介護事業所こんぶ、蘭越町通所介護事業所、高齢者生活福祉センターこんぶ、高齢者生活福祉センターめな、【ニセコ町】医療法人ニセコ医院、特定非営利活動法人ニセコ生活の家、特別養護老人ホームニセコハイツ、(福)ニセコ福祉会ニセコ町デイサービスセンター、(福)ニセコ福祉会ニセコ町グループホームきら里、【倶知安町】障がい者就労支援施設羊蹄セルプ、いきるよるこび「うたり」、人と人をつなぐ陽だまり、グループホームそら、グループホームかぜ、グループホームゆめ、福祉ホーム羊蹄、共同生活援助事業あゆ〜む、障がい者就労支援事業所ワークショップようてい、グループホームよるこび(グループホームえがお、グループホームここに、グループホームふじ、グループホームしずく、グループホームつばさ)、ワークステーション輝、夢のたくみ、羊蹄ハイツ、デイサービスセンター羊蹄ハイツ、介護老人保健施設麓華苑、グループホーム羊蹄、認知症対応型共同生活介護縁、認知症対応型共同生活介護絆、デイサービスろっかえん、倶知安町老人デイサービスセンター、リハビリ特化型サービスカラダラボ、【積丹町】積丹町立国民健康保険診療所、エイジングステーションやすらぎ、地域密着型特別養護老人ホームゆうるり、【古平町】共働の家、みっくすベジタ、きょうどう、地域生活総合支援センターいこいの家、若者宿、つどい、古平町高齢者生活支援センター元気プラザ、古平町デイサービスセンター、夕凧、朝凧、デイサービスセンターのどか、グッドケア、ほほえみくらす、古平町立診療所海のまちクリニック、【仁木町】医療法人社団森内科胃腸科医院、(福)後志報恩会銀山学園、(福)後志報恩会大江学園、(福)後志報恩会えんれいそう、(福)後志報恩会陽だまり、(福)後志報恩会ふきのとう、あんごの森「銀山」、回復の森「銀山」、(福)仁木福祉会グループホーム仁木やすらぎの里、(福)仁木福祉会デイサービス仁木やすらぎの里、(福)仁木福祉会仁木長寿園、【余市町】社会福祉法人北海道社会事業協会余市病院、余市幸住学園、余市豊浜学園、NPO法人樹の杜(どんぐり)養護老人ホームかるな和順、グループホーム美優さくらんぼ、グループホーム夢、グループホームボランの家、介護医療院なかじま、【赤井川村】グループホームあまらんす、グループホームあまらんす2号館

(16) その他機関 … <60>

【泊村】泊村社会福祉協議会、泊村商工会、【共和町】共和町農業開発センター、共和町学校給食センター、西村計雄記念美術館、共和町かかし古里館、共和町社会福祉協議会、共和町商工会、ワイス温泉、【岩内町】

岩内地域人材開発センター、(株)いわない高原ホテル、ホテルグリーンパークいわない、いわない温泉高島旅館、いわない温泉おかえりなさい、ホテルいろう、岩内マリンホテル、ホテルENVY、ホテルENVY(新館)、ベイホテルいわない、岩内町老人福祉センター、働く婦人の家、岩内商工会議所、【神恵内村】旅館恵比須屋、民宿きのえ荘、【寿都町】(株)寿都振興公社、港前庵、ペンションMellow、【蘭越町】蘭越町交流促進センター幽泉閣、蘭越町交流促進センター雪秩父、【ニセコ町】ニセコ町社会福祉協議会、(株)ニセコリゾート観光協会、【倶知安町】倶知安観光協会、ホテルニセコアルペン、ニセココテージアカゲラ、ペンションアリス、ペンション浦中、ペンショングランパ、ロッジコロポックル、ニセコパークホテル、白雲荘、ペンションまろうと、【積丹町】(福)積丹町社会福祉協議会、【古平町】古平町商工会、日本海ふるびら温泉しおかぜ、古平家族旅行村、(福)古平町社会福祉協議会、(福)古平福祉会、【仁木町】(福)仁木町社会福祉協議会、仁木町商工会、イナホ観光(株)、(有)五共ハイヤー、NPO法人銀山さわやか福祉NPO、仁木町観光協会、【余市町】一般社団法人余市観光協会、民宿とよはま、エーヴランドホテル&ゴルフ(株)余市カントリー、一般社団法人余市医師会、【赤井川村】キロロリゾートホールディングス(株)、【札幌市】シャトレゼ ガトーキングダム サッポロ、【留寿都村】ルスツリゾート

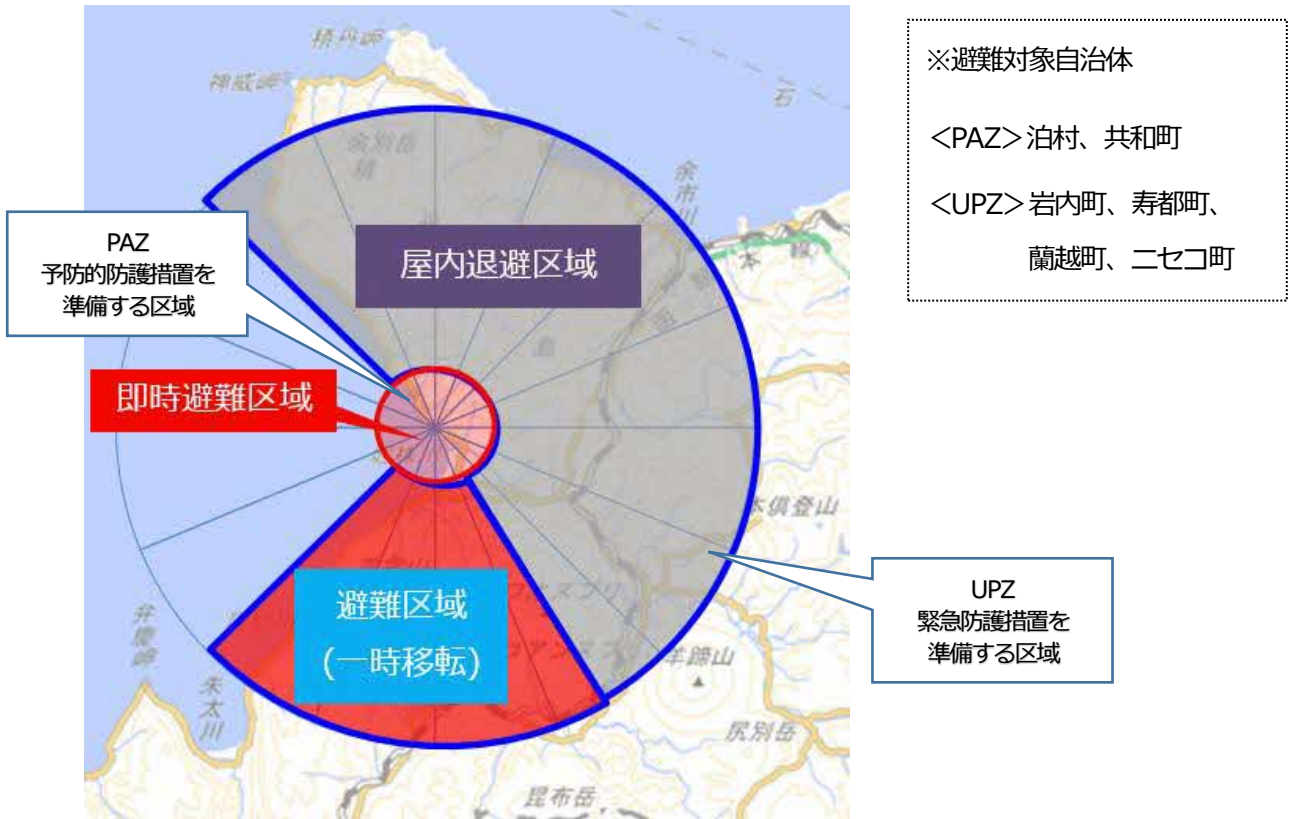
7 訓練想定

新型コロナウイルス感染症流行下において、後志地方西部を震源とする最大震度6強の地震が発生。地震後、何らかの原因により、北海道電力株式会社泊発電所3号機において、原子炉の一次冷却材が漏えいし、原子炉が停止。複数の設備故障により、原子炉の冷却が不能となり、原子力災害に至る。

時刻	事態	事故	要請・指示	対象自治体
10/31 4:00	EAL(AL)〔警戒事態〕 地震発生 →警戒事態発生通報	最大震度6強 (泊村：震度6弱)	連絡体制の確立	関係13町村
4:30	EAL(AL)〔警戒事態〕 警戒事態発生通報	一次冷却材が漏えいし、原子炉自動停止。その後、原子炉圧力低下による非常用炉心冷却設備の作動。	PAZ要配慮者の避難準備	PAZ(泊村・共和町)
8:45 訓練開始	EAL(SE)〔施設敷地緊急事態〕 原災法第10条事象の発生通報	何らかの設備故障等により、非常用炉心冷却設備による原子炉への注水が一部不能。	PAZ要配慮者の避難 PAZ住民の避難準備 UPZ住民の屋内退避準備	PAZ(泊村・共和町) UPZ(関係13町村)
9:50	EAL(GE)〔全面緊急事態〕 原災法第15条事象の発生通報 →原子力緊急事態宣言発出	さらなる設備故障により、非常用炉心冷却設備による原子炉への注水不能。	PAZ住民の避難 UPZ住民の屋内退避	PAZ(泊村・共和町) UPZ(関係13町村)
12:00時点で時間を2日間スキップ(放射性物質放出からOIL2超過区域の特定まで) (この間、放射性物質の放出・停止、余震発生)				
11/2 12:15			UPZ一部区域(OIL2超過区域)住民の一時移転	UPZ(岩内町、寿都町、蘭越町、二セコ町)
14:30	事態収束(格納容器へのスプレイ開始)の連絡	故障していた設備の復旧により、格納容器へのスプレイを開始し、事態収束の方向。		
16:00 訓練終了				

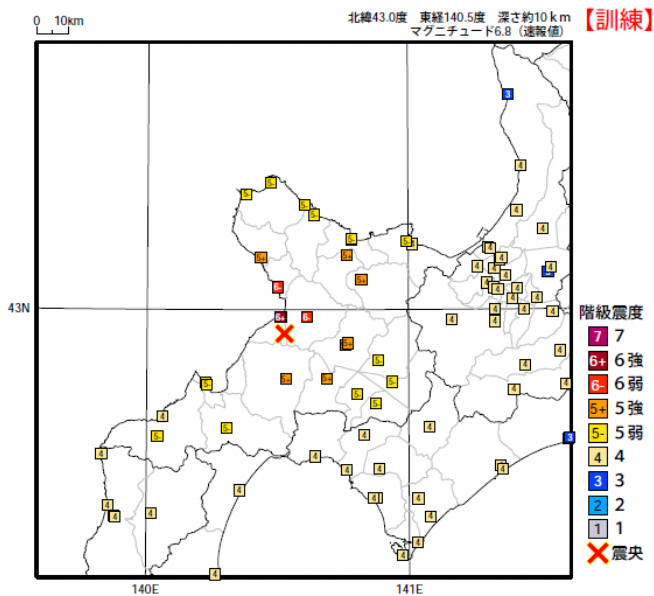
*原子力発電所では、事故発生に備え、何重もの安全装置が設置されています。今回は訓練想定に沿って、何らかの理由でこれら安全装置が故障等により正常に作動しない事態を想定しました。

<防護対策区域>

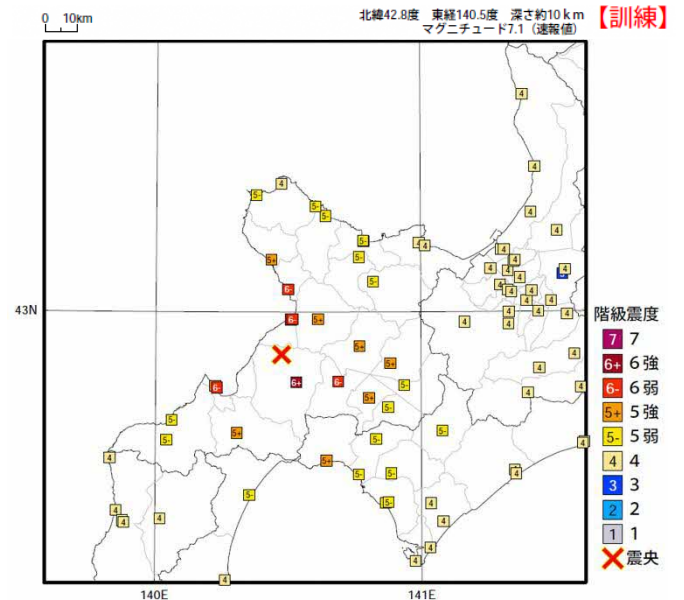


<地震想定>

(1) 10月31日4時の地震



(2) 11月2日9時の余震



8 訓練内容

(1) 重点活動項目

次に掲げる事項を重点活動項目として、災害対策本部の設置運営訓練及び住民避難訓練などの要素訓練を組み合わせた総合訓練を実施した。

<重点活動項目>

- ◆緊急事態応急対策等拠点施設（OFC）運営訓練
 - ・機能班要員の緊急参集
 - ・各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況の収集・整理
 - ・スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有
 - ・新型コロナウイルス感染症流行下での地震との複合災害時における防護措置に係る防災関係機関との対応の調整
- ◆住民避難訓練
 - ・バス避難のための集合場所の開設、バス避難における感染症対策の実施
 - ・感染症対策を講じた避難所の開設・運営
 - ・多様な手段による孤立地域の避難
- ◆緊急時環境放射線モニタリング訓練
 - ・緊急時モニタリングセンター（EMC）を拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携
 - ・緊急時モニタリング実施内容の検討（実施計画案の修正）、指示及び情報伝達
 - ・空間放射線量率の測定、環境試料の採取・分析
- ◆原子力災害医療活動訓練
 - ・安定ヨウ素剤の緊急配布
 - ・避難先域時検査場所の開設と運営

(2) 各要素訓練

訓練項目ごとに主要活動項目を設定し、その活動に必要な対応動作や手順の確認を行った。

ア 災害対策本部等設置運営訓練

道及び関係13町村は、災害対策本部を設置し、事態の推移に応じて本部員会議やTV会議を開催し、本部内や防災関係機関と情報共有を図った。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 北海道教育委員会 北海道警察本部	<本庁> <input type="checkbox"/> 道災害対策本部の設置・運営（指揮室） <input type="checkbox"/> 道本部員会議の開催（3階テレビ会議室） <input type="checkbox"/> TV会議〔道庁－OFC－関係13町村〕による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/> 住民避難用バスの手配等に係る連絡調整 <OFC> <input type="checkbox"/> 道現地災害対策本部の設置・運営 <input type="checkbox"/> 住民避難用バスの手配等に係る連絡調整
関 係 1 3 町 村	<input type="checkbox"/> 各町村災害対策本部の設置・運営 <input type="checkbox"/> TV会議〔道庁－OFC－関係13町村〕による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/> 住民避難用バスの手配等に係る連絡調整
原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 本店及び泊発電所にて原子力災害対策本部の設置・運営

<道災害対策本部員会議（OFC等とTV会議）>



<道指揮室での原子力災害状況の共有>



<原子力事業者による事故状況の説明>



<道現地本部での活動>



イ 緊急事態応急対策等拠点施設（OFC）運営訓練

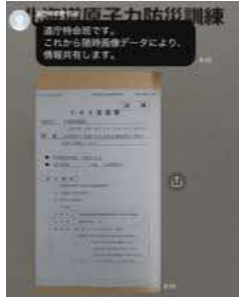
OFCに、国、道、関係13町村及び防災関係機関から、あらかじめ定められた要員が参集し、体制を構築して、事故の状況や防災関係機関の対応状況を把握しながら、必要な情報共有を図り、新型コロナウイルス感染症流行下での地震との複合災害時における防護措置の調整・確認を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
内 閣 府 原 子 力 規 制 庁 泊 原 子 力 規 制 事 務 所 北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> OFCへの要員の緊急参集 <input type="checkbox"/> 各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況を収集・整理 <input type="checkbox"/> スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症流行下での地震との複合災害時における防護措置に係る防災関係機関との対応の調整 <input type="checkbox"/> 防護措置資料の作成・取りまとめ <input type="checkbox"/> 現地事故対策連絡会議（EAL（SE）段階）や原子力災害合同対策協議会（EAL（GE）段階）の開催 <input type="checkbox"/> TV会議〔道庁－OFC－関係13町村〕による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/> ヘリ・道路カメラからの映像伝送による情報収集

〈自衛隊ヘリによるOFCへの緊急参集〉



〈LINE OPEN Chatによる情報共有〉



〈現地事故対策連絡会議〉



〈原子力災害合同対策協議会〉



〈機能班の活動〉



〈実動組織の活動〉



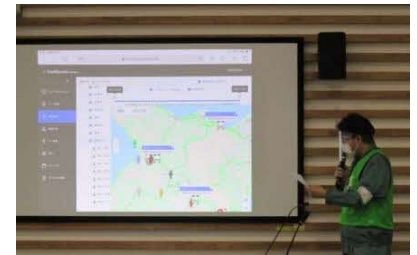
〈TV会議システムによる情報共有〉



〈OFCスクリーンを活用した情報共有〉

AL	施設敷地緊急事態 (SE)	
SE	放射性物質放出なし	
GE	PAZ	SE要避難者 避難中 PAZ住民 避難準備
OIL2	OIL1地域	なし
OIL1	UPZ	OIL2地域 なし その他地域 屋内避難準備

〈住民避難状況の共有〉



〈自衛隊のヘリテレ映像伝送による情報収集〉



〈道路カメラによる情報収集〉



〈OFC内の感染症対策〉



※OFCにおける感染症対策

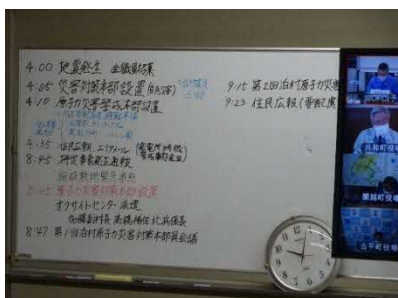
- ・入館時に体調確認を行い、37.5℃以上の発熱者や体調不良者は訓練不参加
- ・要員等は、マスク及びフェイスシールドを着用して活動
- ・各機能班等にアクリル板を設置するとともに、手指消毒液を設置
(OFC活動中に感染症対策として、ある班長を感染疑いで業務から離脱させる訓練も実施した。)
- ・訓練前後2週間における体調のセルフチェックと報告 など

ウ 緊急時通信連絡訓練

各種通信手段を用いた事故状況や対応状況等に関する防災関係機関相互の通報連絡及び関係機関への情報伝達を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
全 機 関	<input type="checkbox"/> 電話及びFAX（一般回線や専用回線）、防災行政無線を用いた防災関係機関相互の通報連絡 <input type="checkbox"/> 避難先自治体等への事故状況の伝達や避難受入要請

<情報伝達内容の整理（泊村）>



<情報伝達内容の整理（共和町）>



エ 緊急時環境放射線モニタリング訓練

国の統括のもと、OFC内に緊急時モニタリングセンター（EMC）を設置し、国、道、関係13町村、原子力事業者、関係指定公共機関と連携して、緊急時における環境放射線のモニタリング活動を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
原子力規制庁 北海道 関係13町村 原子力事業者 指定公共機関	<input type="checkbox"/> EMCを拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング実施内容の検討（実施計画案の修正）、指示及び情報伝達 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング実施計画に基づく空間放射線量率の測定、環境試料の採取・分析 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング情報共有システム等によるモニタリング情報の収集、整理、確認及び報告 <input type="checkbox"/> OFC放射線班等への緊急時モニタリング結果の提供及び情報共有 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング要員の被ばく管理

<EMCの活動>



<放射線班との連携>



<採取した環境試料の受渡し>



<モニタリングカーでの出動>



<可搬型モニタリングポストの設置>



<自衛隊のNBC偵察車による行列が支援>



オ 広報訓練

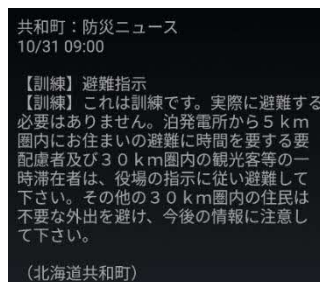
関係13町村の住民等に対し、防災行政無線や広報車等による広報のほか、緊急速報メールなど多様な手段を活用した広報を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関	<input type="checkbox"/> 防災行政無線や広報車、コミュニティFMなどによる住民広報 <input type="checkbox"/> 電話及びFAX（一般回線）等を用い、関係13町村の要配慮者施設（医療機関・社会福祉施設等）や宿泊施設に対する情報伝達 <input type="checkbox"/> 緊急速報メールを活用し、多言語による避難指示等を配信 <input type="checkbox"/> 道ホームページ・Twitterを利用した多言語による情報発信

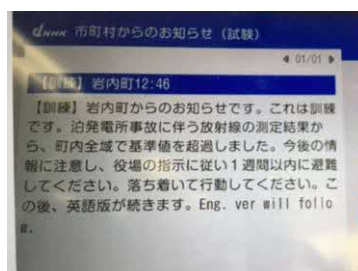
<広報車>



<緊急速報メール>



<NHKによるデータ放送>



<Twitter>



カ 住民避難訓練

各町村の避難計画を基本として、新型コロナウイルス感染症流行下での地震との複合災害時において防災関係機関と連携しながら、EAL、OILの判断基準に基づき、住民等の安全確保を優先して屋内退避や避難等の防護措置を段階的に実施した（検温や消毒、人と人との距離の確保といった感染症対策を講じて実施）。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関	<input type="checkbox"/> バス避難のための集合場所の開設（レイアウト図の掲示） <input type="checkbox"/> バス等を利用した避難（バス避難における感染症対策の実施） <input type="checkbox"/> 要配慮者（社会福祉施設入所者など）の屋内退避・避難 <input type="checkbox"/> 放射線防護施設における屋内退避・出入管理 <input type="checkbox"/> 避難受入自治体の協力による一時滞在場所の設置・運営 <input type="checkbox"/> 感染症対策を講じた避難所の開設・運営 （地震により自宅での屋内退避が困難となった場合の避難所での屋内退避、外国人への多言語による情報伝達） <input type="checkbox"/> 地震に伴う家屋倒壊による負傷住民の救出・救助 <input type="checkbox"/> 陸路・海路・空路を用いた孤立集落の避難 <input type="checkbox"/> 避難経路確保のための道路啓開 <input type="checkbox"/> 警察官による交通整理・迂回路誘導、道路情報板による交通広報 <input type="checkbox"/> バス運転手等民間事業者の防護対策・車両動態管理及び情報伝達

●参加住民数 3,042 人（避難 257 人、屋内退避 2,785 人）

【避難指示区域】

※（ ）内は屋内退避者

区分	町村名	避難者数	避難方法
PAZ	泊村	15 (-)	バス2台、普通車両2台
	共和町	30 (-)	バス2台、福祉車両1台
UPZ	岩内町	76 (60)	バス4台、体調不良者専用車両1台
	寿都町	53 (500)	バス5台、福祉車両1台、船舶1隻
	蘭越町	24 (-)	バス1台、ヘリ1台、高機動車2台
	二セコ町	27 (210)	バス2台
合計		211 (770)	バス16台、福祉車両2台、普通車両2台、船舶1隻、ヘリ1台、高機動車2台、体調不良者専用車両1台

【その他区域】

町村名	避難者数	避難方法
UPZ町村合計	46 (2,015)	泊村 (UPZ)、余市町、倶知安町は独自訓練として避難等を実施 (バス3台、船舶1隻)

＜バス集合場所の受付＞



共和町

＜バスによる避難＞



共和町

＜社会福祉施設の避難＞



岩内あけぼの学園

＜在宅要配慮者の防護施設への屋内退避＞



共和町保健福祉センター

＜一時滞在場所の設置運営＞



ガトーキングダムサッポロ

＜負傷住民の救出・救助＞



岩内町民プール

＜感染症対策を講じた避難所運営＞



岩内町民体育館

＜外国人への多言語による情報伝達＞



岩内町民体育館

＜感染疑いの専用車両による避難＞



岩内町民体育館